

「社会を見すかす」

岐阜市立伊奈波中学校 三年 武藤 伶奈

「株は、見えるものじゃないよ。見すかすものなんだよ。でも面白いんだよな。」

中学生になった頃から興味があった株に、父にこう言われ、私は、「やってみたい」と思うようになりました。

そして中学 3 年生の選択授業を選ぶ時、先生が、「社会の選択では株式学習ゲームを行います。株は、やる気がある人しかつづけることが出来ません。興味がありやる気がある人だけ、選択して下さい。」

と、おっしゃっていました。

株という言葉に心がひきつけられ、また、株というものがどういうものか知りたい！という強い思いをもち、選択をしました。

そして、選択授業の株式学習ゲームを、学習しはじめました。

私は、父が言っていた「おもしろい」とはどのような事なのだろうか？と、とても、わくわくしていました。

しかし、新聞から読み取る方法は難しく、慣れるのには、とても時間がかかりそうでした。そんな中で確実に株の売買の方法や、読みとり方を知り、株というものをつかめてきた時、新たな難題にぶつかりました。それは「世の中の流れを見すかす」ということです。ただたんに、新聞やニュースで言ったりしていた事を知識として株を買っても、なかなか上がらず、下がったり上がったりの、くり返してでした。ふと、私は思いました。父の言っていた意味は、こんなことなんだろう、と。

そこで私は、父に株の相談をしていました。すると父は、「色々な企業を見て、世の中の未来を想像してごらん。」と言われ、私は

色々な事を考え、実践してきました。たとえば、携帯会社の事です。

会社が、 キャンペーン・割引をしてきたから、そろそろ、あの会社も、対抗して、キャンペーンを出してくるだろう。や、新機種を出していたから、それで客を持っていかれないよう、対策をするのではないだろうか、などです。みごとあてて、もうけたこともありました。私は「こういうことが世の中をみすかすという事じゃないのかな」と、その時思いました。もしかしたら、大きく「下落」し、大損をしてしまうのかもしれない、けれども先を見すかし、株を買うことが“株のおもしろさ”ではないのではないのでしょうか。

そして私は、父から、また株式学習ゲームから「社会」を教えてもらったような気がします。「社会」というのは、経済という面からです。経済の状況を知るためにはテレビや新聞、個々の企業を見たり、聞いたりしなければなりません。私は新聞を読んだりすることは苦手だったけれども、「何かおもしろい動きがおきていないかな？」や「世の中は何がおこっているのだろう。」など社会に対し、興味を持つことができました。また父とのコミュニケーションとしても、このゲームは、とても役立ったと私は思っています。会社を経営している父は、株には神経をとぎすましている、と言います。損をする事もあるけれども、大きく得をすることもあり、やり方しだいで、変わるようなのですが、それなりにおもしろさがあり、「世の中」や「社会」を知る、という点では、良いそうです。

この株式学習ゲームを行い、社会を見つめ直し、また、株や経済のおもしろさ、怖さ、難しさが学べたと思います。将来株を行う機会はないかもしれないがこの学習ゲームから得た事は「私の将来へ」つなげていきたいです。